



金津の森プロジェクト

金津の森のキャラクター
林森(りもり)



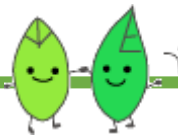
金津の森プロジェクトは平成28年度から、地域の有志の方々に実行委員となっていただき、実施しています。

金津の森を学校教育の中に有効に取り入れ、児童の総合的な学力、環境知識、地域貢献意識などの向上を図ることを目的としています。

また、地域の方と児童の交流の場としての役割も担っています。現在では、金津小学校のコミュニティ・スクール事業の大切な一つの柱となっています。



1・2年生 テーマ「森となかよし」



6月13日(火)、1・2年生対象に「森となかよし」を実施しました。

実行委員で司会をしてくださった村井さんは、金津の森のキャラクター「りもり(林森)」を模した手作りの衣装で盛り上げてくださいました。

森の中に入る前には、安全についてのおはなしもしていただきました。

「ネイチャービンゴ」では、「つるつる」「ふわふわ」「とりのこえ」「こんちゅう」などの項目がカードごとにランダムに書かれています。子ども達はビンゴを目指して一生懸命、森の中を歩きました。また、ビンゴをしながら森の中に4つ設置してある「林森」も探しました。子ども達が見つけたときに、「いた！」と嬉しそうな声が森に響きました。

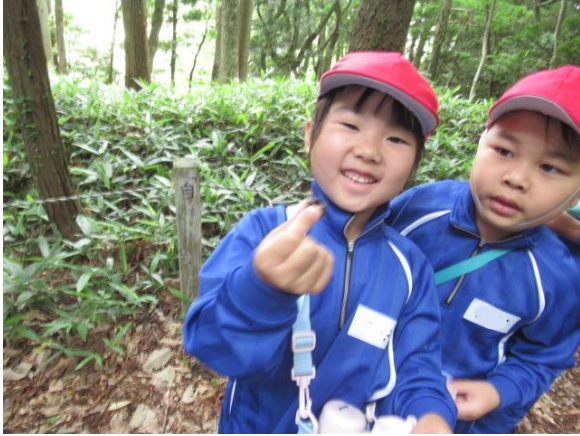
あずまやでは、森で見つけた「いいもの」の発表をしました。ハート形の葉っぱやどんぐりのぼうし、だんごむしなど、様々な「いいもの」を見つけることができました。

最後はスラックラインで楽しく遊びました。



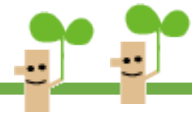
スラックライン

「森となかよし」の様子





3・4年生 テーマ「森はすごい」



6月22日(木)、「森はすごい」を実施しました。

今年度は金沢森林組合河北支所の方にご協力いただき、金津の森で木の伐採の見学をしました。天気はあいにくの雨でしたが、森に入るとたくさんの枝のおかげであまり濡れることはありませんでした。

間近でチェーンソーのエンジン音を聞いた子ども達は、迫力に圧倒されていました。

伐採の装備や手順を詳しく教えていただき、間近で見学しました。実際にみんなで切ったばかりの木を持ち上げて生木の重さを実感してみると、木がたくさん水分を含んでいることを理解したようでした。

その後、倒した木は輪切りにし、子ども達全員に配られました。配られたものを見ながら、年輪についても教えていただき、みんな一生懸命かぞえて木の年齢を調べました。70まで数えて、それでもまだ年輪があることに驚いていました。





〈児童の感想〉(一部抜粋)

1・2年生「森となかよし」

- ・ぼうけんみたいでたのしかったです。いろいろなはっぱをみつけられたのでたのしかったです。
- ・たのしかったからまたいきたいです。いろんなところにいるりもりをみつけるのがたのしかったです。びんごもぜんぶあけられてうれしかったです。
- ・また金づの森でビンゴをできたらいいなとおもいました。
- ・ひろったまめのさやのなかにダンゴムシがいてびっくりしました。またもりに入りたくくなりました。

3・4年生「森はすごい」

- ・林業がこんなにたいへんなのだとわかりました。これからも金津の森を大切にしていきたいと思いました。
- ・きった木をもちかえりできたのでびっくりしました。金津の森のことをいろいろ知れたのでうれしかったです。
- ・いろんなどうぐをつかって、それぞれ意味があるとわかったし、服も理由があってあの服そうをしているんだなあと思いました。
- ・じっさいにチェーンソーでスギの木を切ってもらえて、年りんを数えて、80才ということがわかりました。木を切るときに、さいしょに、半分切って、そこからくさびをいれて、ハンマーでたたいたらたおれることがわかりました。

5・6年生は「森と生きる」をテーマに、10月に炭づくりを予定しています。

〈金津の森プロジェクト実行委員会〉

奥野清光 末吉英一
中田善和 榊田美鈴
村井道子 (敬称略)

金津小学校のホームページはコミスクだよりをカラーで掲載しており、バックナンバーも掲載しています。また、[金津っ子ちゃんねる](#)にて様々な動画も公開しています。ぜひご覧ください。

金津小学校

